

OBの福崎健太さんが環境システム論文奨励賞を受賞

大学院理工学研究科生産環境工学専攻環境建設工学コースの博士前期課程を令和2年3月に修了した福崎健太さんが、環境システム論文奨励賞を受賞しました。

この賞は、環境システム研究論文集に登載された論文のうち、当該分野における学術・技術の進歩・発展に寄与し、独創性と将来性に富むものについて、年齢が40歳未満の著者に対して授与されるものです。

受賞論文では福崎さんが保全生態学研究室で行った卒業研究の成果がまとめられています。出水攪乱に対する底生動物群集の反応を愛媛県道後平野を流れる12河川で調査することにより、出水攪乱が底生動物の多様性を高める場合があるなど、新規性の高い現象を発見しました。この成果は都市河川における今後の生態系管理に役立つ知見として特に認められ、今回の受賞となりました。

福崎さんは学部・大学院で得た知識と経験を活かして令和2年4月より建設コンサルタント会社で社会人として働いています。今後の一層のご活躍をお祈りします。

【論文情報】

福崎健太・目崎文崇・三宅洋 (2019) 平地河川における出水攪乱に対する底生動物群集の反応.
土木学会論文集 G (環境) 75(6): II_143-III149.

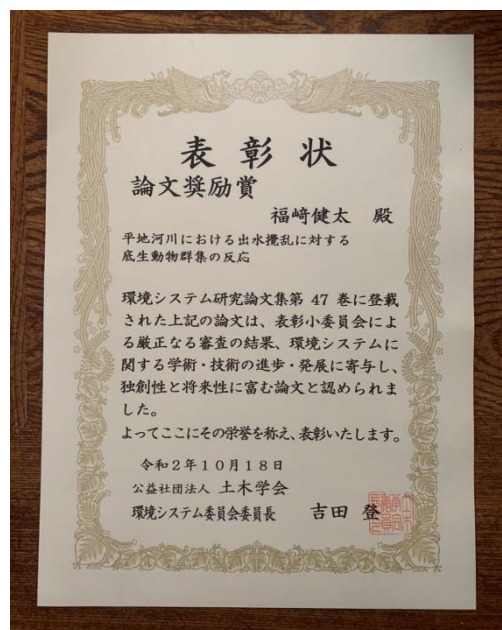
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jscejer/75/6/75_II_143/_article/-char/ja

【受賞情報】

<https://committees.jsce.or.jp/envsys/node/59>



調査中の福崎さん



授与された表彰状